

ホワイトスペース利用作業班 第6回 議事要旨

1 日時

平成 24 年 12 月 6 日(木) 10 時 00 分ー10 時 50 分

2 場所

中央合同庁舎第2号館(総務省) 10 階 総務省第 1 会議室

3 出席者(敬称略)

主査:

森川博之(東京大学)

主査代理:

高田潤一(東京工業大学)

構成員:

浅間一(東京大学)、阿部健彦(株式会社テレビ朝日)、市川晃(株式会社ボードウォーク)、伊藤博(社団法人日本演劇興行協会)、今井亨(日本放送協会)、大原久典(マスプロ電気株式会社)、片柳幸夫(日本テレビ放送網株式会社)、加藤千早(一般財団法人電波技術協会)、栗又康史(森ビル株式会社)、齋藤一(株式会社テレビ東京)、高田仁(一般社団法人日本民間放送連盟)、田中章夫(特定ラジオマイク利用者連盟)、中原俊二(日本放送協会)、野田正樹(株式会社日立製作所)、原田博司(独立行政法人情報通信研究機構、代理:村上誉(同機構))、廣野二郎(株式会社フジテレビジョン)、本間康文(株式会社 TBS テレビ)、松浦長洋(株式会社バッファロー)、松永陽一(総務省消防庁)、水谷尚人(特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ、代理:渡邊浩史(株式会社日立ソリューションズ))、渡邊邦男(日本舞台音響家協会)、渡邊祐介(WICKS 株式会社、代理:朝稻真一(同社))

事務局(総務省):

竹内電波政策課長、豊嶋推進官、浅井調整官、鈴木調整官、松元係長(電波政策課)、白石課長補佐(基幹通信課)、作田課長補佐(重要無線室)、星野課長補佐(移動通信課)、安澤課長補佐(地域メディア室)、山野課長補佐(放送技術課)

4 配布資料

資料 WS 利-6-1 ホワイトスペース利用作業班(第5回)議事要旨(案)

資料 WS 利-6-2 ホワイトスペース利用システムの運用調整の仕組み 最終とりまとめ(案)

5 議事概要

(1) 開会

(2) 議事

① ホワイトスペース利用作業班(第5回)議事要旨(案)について

資料 WS 利-6-1について、意見がある場合は12月12日正午までに事務局までに連絡するよう、事務局より説明が行われた。

② 運用調整手順の流れ

資料 WS 利-6-2に基づいて事務局より説明が行われた後、意見交換が行われた。主な発言は以下の通り。

(東京大学 森川主査)

資料WS利-6-2は来週から年末年始にかけてパブリックコメントの募集を行う。本日は最終とりまとめ(案)としての最終チェックを行って頂きたい。

(日本民間放送連盟 高田構成員)

P.13 の特定ラジオマイク運用者間の運用調整の在り方についての検討は、運用調整協議会(以下協議会とする。)と切り離して行われるもの、ということについて確認させて頂きたい。また、p.14 の特定ラジオマイクが使用する可能性が高いチャンネルについてエリア放送免許申請者が注意すべき事柄に関して、エリア放送参入マニュアルにはどの程度踏み込んだ記述を盛り込むのか伺いたい。

(総務省 鈴木調整官)

特定ラジオマイク運用者間の運用調整の在り方は、おっしゃる通り協議会と切り離して検討されるべきもの。高い帯域のチャンネルについて、特定ラジオマイクの申請頻度が高いと想定されることをご存知の方は多いと思われるが、新規参入の方などにも万遍なく周知できるよう、マニュアル等でなるべく広くお知らせしたい、と考えている。

(特定ラジオマイク利用者連盟 田中構成員)

事務局案で問題無い。今後、より完成度の高い柔軟な運用調整の体制を整えたい。

(東京工業大学 高田主査代理)

P.25 の運用調整等実施規定【ひな型】の2. (1)エに、エリア放送を使用しない日があるか否か登録する、との記載がある。他方2. (3)にはエリア放送を使用しない日があるものは、使用日時を登録する、という記載があるが、どのように整理しているのか伺いたい。

(総務省 鈴木調整官)

2. (1)エを使用しない日時、と記載すると夜間の不使用についても全て記載しなくてはならなくなる。概ね毎日使うのであれば常時使用とし、イベントなどで特定の曜日や時間帯に限って使用する場合は、使用の度に日時を登録して頂くことを考えている。

(東京工業大学 高田主査代理)

常時使用という分類は、例えば1日あたり30分毎日放送する、という利用形態も想定しているのか。どの程度の頻度や割合で使用すれば常時使用として良いか、について検討する必要があるのではないかと考えている。

(総務省 鈴木調整官)

登録情報については、今後、エリア放送がどのように使われるか、運用調整によって周波数が無駄になっていないか、という視点で運用調整連絡会及び協議会で検討して頂きたい、と考えている。

(東京大学 森川主査)

この議論については、使用情報の登録による電波の有効利用と、そのために要する事務作業の負担を斟酌して検討すべき、と考えられる。

(特定ラジオマイク利用者連盟 田中構成員)

特定ラジオマイクは時間単位で運用を行っている。調整のため、エリア放送についても時間単位で登録を行っていただきたい、と考えている。

(東京大学 森川主査)

全体的なコメント等もあれば頂きたい。

(日本舞台音響家協会 渡邊構成員)

P.8 の5. に記載されている特定ラジオマイクチャンネルリストについて、今後できた後に、チャンネルリストに盛り込まれていない地点をどのように追加するのか、新しいリストが出来た後の免許の更新はどのように行われるのか、例えば自動的に行われる

ことになるのか、等についてお考えを伺いたい。

(総務省 星野課長補佐)

チャンネルリストがどのようなものかはこれから明らかになる。協議会よりは特定ラジオマイク間で検討されることが多いかもしれないが、新しい地点をチャンネルリストに追加する際に、どのような情報がリストに必要なか、ユーザーの実際の使い方を念頭にご意見を頂きながら検討させて頂きたい。

(東京大学 森川主査)

本日の議論を受けてパブリックコメントにかけられることとなるが、修正は無い、ということ为宜しいか。また、それまでに事務局でエディトリアルな修正を加える可能性があるが、その場合は主査に一任する、ということ为宜しいか。

(一同了承)

それでは、この案でパブリックコメントにかけたい。

③ 今後について

今後、最終とりまとめ(案)に対しエディトリアルな修正を行った後に、翌週又は再来週から年明けまでの期間でパブリックコメントを募集する予定であることが、事務局から説明された。

次回の作業班は翌年1月の月上旬から中旬を予定しているが、パブリックコメントの提出状況次第でメール審議とする可能性があること及びその判断について主査一任とすることについて、森川主査より諮られ、構成員一同の了承を得た。また、時期や開催の有無については事務局より別途連絡することが森川主査から説明された。

(3) 閉会

以上